

ISSN 1347-698X
CODEN : KHKSBS

香川県環境保健研究センター所報

第 2 号

Annual Report
of
Kagawa Prefectural Research Institute
for Environmental Sciences and Public Health

Vol. 2
2003



香川県環境保健研究センター

はじめに

この度、香川県環境保健研究センター所報第2号として、平成14年度の香川県環境保健研究センターの調査研究事業の結果を取りまとめました。県民の皆様や関係機関の方々などに参考にしていただければ幸いと考えます。

さて、今年香港、台湾、シンガポールをはじめ世界各地で重症急性呼吸器症候群(SARS)が流行し深刻な社会不安を起こしました。

香川県においてもSARS感染の台湾人医師が県内を訪れたことから、緊急対応に追われました。幸い他への感染がなく、ことなきを得たことはご承知のとおりです。SARS問題に見られますように近年健康危機管理の重要性がますます大きくなってきています。

また、食品に関しては、牛海綿状脳症(BSE)の問題、健康食品の問題、輸入農作物の残留農薬の問題、安全性未承認の遺伝子組換え作物を使用した食品問題など消費者の食に対する信頼を揺るがしかねない問題が多く発生しており、食の安全と安心が強く求められてきています。

一方、環境分野におきましては、水質汚濁、大気汚染、騒音・振動、悪臭問題あるいは土壌汚染、地下水汚染、廃棄物問題などの身近な課題から地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などの地球規模の課題まで、問題解決に向けたさまざまな対応が必要となっています。

このような状況のもと、近年特に人の健康の保護並びに環境保全に関する試験検査や調査研究の重要性が増大しています。

特に本県では、67万トンに及ぶ豊島産業廃棄物の処理が急がれておりましたが、施設整備が整い平成15年9月18日から、無害化処理が開始されました。1日当たり200トンの処理を今後10年間に渡って行うこととなります。

当研究センターでは、豊島産業廃棄物等処理事業の円滑な推進を図るため、直島環境センターなど関係機関と連携を図りながら周辺環境調査など必要な調査を実施してまいります。当研究センターは、水とみどりに恵まれた美しい郷土づくりと県民の健やかなからだ、安全でうるおいのある暮らしを守ることを目標として職員一同、さらに調査研究等に取り組む考えですので、なお一層のご指導、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成15年12月1日

香川県環境保健研究センター

所長 藤田 淳二

目 次

[概 要]

I 沿 革	1
II 職員の配置状況	2
III 業務分担	3
IV 職員の異動	5
V 庁舎及び施設概要	6
VI 経理状況	8
VII 業務概要	11
VIII 試験研究のテーマ	30
IX 学会、論文等の報告	32
X 学会・会議等	33
XI 講演、研修会等の概要	38
XII 環境研・学習サポートボックス事業	41
XIII 環境森林部 環境教育・環境学習事業	43
XIV 環境保全・保健衛生関係行事	43
XV 環境月間行事等	44
XVI 環境ライブラリー事業	44
香川県環境保健研究センター規則	45

[調査研究]

水生植物を活用した水質浄化実験（第1報）－豊稔池の水質浄化の試み－	笹田 康子 他	47
河川水中のダイオキシン類の濃度と懸濁物質量との関係について	石川 英樹 他	57
希少水生植物保護の取り組み（第1報）－香川県で唯一アサザの自生する久米池の環境について－	白井 康子 他	64
食塩中のフェロシアン化物の分析法について	毛利 孝明 他	72
加工食品由来のサッカリンの1日摂取量について	毛利 孝明 他	75
苦情食品の検査事例（平成14年度）	山下みよ子 他	79
香川県における健康食品中の医薬品成分について	西岡 千鶴 他	84
Echo virus 11による地域特異性流行像に関する疫学的解析	三木 一男 他	94
中四国地域におけるインフルエンザウイルスの分離情報ネットワーク	亀山 妙子 他	102
髄膜炎菌性髄膜炎の発生動向調査における健康保菌者状況について	砂原千寿子 他	109

[資 料]

香川県環境保健研究センターの「環境研・学習サポートボックス」における環境学習事業等の展開について	高橋 敏夫 他	117
土壌中におけるダイオキシン類の異性体構成比率について（平成12－13年度調査結果）	鈴木佳代子 他	121
環境大気中のベンゼン濃度と与えるガソリン濃度規制強化の効果確認方法について	西原 幸一	125

香川県における霧水調査—平成6年度から平成14年度の9年間について—	大西ひとみ 他	128
有害大気汚染物質中のアルデヒド類の紫外線の影響について	内田 順子 他	131
観音寺局における浮遊粒子状物質高濃度現象の解析	日野 康良 他	135
香川県における環境放射能調査 (XIV)	岩下 陽子 他	147
ダイオキシン類の水中への土壌からの巻上げ・溶出に関する実験	山本 務 他	150
ICP発光分析法による廃棄物最終処分場浸出水等のほう素定量に関する検討	藤田 久雄 他	157
土壌含有量調査法を用いた廃棄物中の重金属濃度について	真鍋 潔司 他	164
トレースアナリシスにおける蒸発装置の考案	毛利 孝明	170
感染症発生動向調査における病原細菌分離の現況 (2002)	多田千鶴子 他	173
感染症発生動向調査におけるウイルス分離の現況 (2002)	三木 一男 他	179
感染症流行予測調査	亀山 妙子 他	185
第1 麻疹感受性調査 (平成14年度)		185
第2 インフルエンザ感受性調査 (平成14年度)		187
第3 インフルエンザ感染源調査 (2002/03シーズン)		188
第4 新型インフルエンザ感染源調査 (平成14年度)		191
第5 日本脳炎感染源調査—豚における日本脳炎抗体保有状況 (平成14年度)		193
新生児における先天性代謝異常症等のマス・スクリーニング実施状況について (第23報)	野田 陽子 他	194
神経芽細胞腫の乳児マス・スクリーニング実施状況について (第14報)	野田 陽子 他	200
[その他]		
投稿規程		205

I 沿 革

- 昭和25年5月25日 警務部所管の細菌検査室・衛生試験室を引き継ぎ、高松市宮脇町に香川県衛生研究所として発足
(1950年) 木造平屋建瓦葺471.5㎡ 職員、所長以下7名
- 昭和28年3月31日 動物舎木造平屋建瓦葺37.2㎡新築
(1953年)
- 昭和32年4月1日 庶務課、細菌科、化学科、獣疫科の科制を設置
(1957年)
- 昭和34年4月1日 香川県衛生検査技師養成所を併設
(1959年)
- 昭和42年4月21日 高松市宮脇町保健衛生センター6・7階に移転
(1967年)
- 昭和46年4月1日 香川県衛生研究所を香川県衛生公害研究所と改称、公害科を設置
(1971年)
- 昭和47年6月1日 科制を廃止
(1972年)
- 昭和50年4月1日 併設の香川県衛生検査技師養成所が香川県臨床検査専門学校として独立
(1975年)
- 昭和50年5月31日 高松市松島町高松合同庁舎5・7階に庁舎移転
(1975年)
- 昭和51年4月1日 香川県衛生公害研究所を香川県衛生研究所と改称し、公害関係部門が香川県公害研究センターとして分離独立
(1976年)
- 平成3年11月1日 香川県衛生研究所と香川県公害研究センターが高松市朝日町に庁舎建設移転、
(1991年) 香川県公害研究センターを香川県環境研究センターと改称
- 平成14年4月1日 香川県衛生研究所と香川県環境研究センターが統合し、香川県環境保健研究センターを設置
(2002年)

II 職員の配置状況

(平成15年6月1日現在)

区 分	総 括	総 務 企 画 課	環 境 科 学 部 門	廃 棄 物 ・ リ サ イ ク ル 部 門	保 健 科 学 部 門	計
所 長	1					1
次 長			1		1	2
研 究 主 幹			1			1
課 長		1				1
副主幹(兼)係長		1				1
主 席 研 究 員		1	8	3	6	18
主 査		2				2
主 任 研 究 員		1	8	2	2	13
一 般 職 員		2	4	1	3	10
嘱 託		1	2			3
計	1	9	24	6	12	52

Ⅲ 業 務 分 担

(平成15年6月1日現在)

所 長	藤 田 淳 二
-----	---------

次 長 (環境科学部門 廃棄物・リサイクル部門)	塚 本 武
次 長 (保健科学部門)	山 西 重 機

研 究 主 幹 (大気・常時監視担当)	岩 崎 幹 男
総 務 企 画 課 長	大 西 満

課・部門	担 当	所 掌 事 務	職 氏 名	
総 務 課	総 務	1. 予算、決算及び会計並びに職員の給与及び服務に関する こと。 2. 物品の購入、出納、保管に関すること。 3. 窓口の事務及び収入並びに文書の收受及び発送に関する こと。 4. 庁舎管理及び自動車の運行・管理に関すること。 5. その他、他の担当に属さない事務。	総務企画課長 大西満 副主席(兼)係長 藤沢久美子 主 査 近藤芳江子 主 査 中村優子 主任主席技師 遠藤村勇昌 主任技師 植村浩和 嘱 託 福岡和男	
	企画・情報	1. 環境保全、保健衛生に関する情報の収集等に関するこ と。 2. 環境保全、保健衛生に関する普及・啓発、教育・学習事 業に関すること。 3. 環境保全、保健衛生に関する研修、講習等に関するこ と。 4. 共同研究等に係る企画及び調整に関すること。 5. 試験、検査等の信頼性確保に係る企画及び調整に関する こと。	主席研究員 高橋敏夫 主任研究員 山中康代	
環 境 科 学 部 門	水 質	水道・温泉	1. 水道水・飲料水の水質に関すること。 2. 温泉に関すること	主席研究員 毛利孝明 主任研究員 牛野照子 主任研究員 田中さと子
		水質汚濁	1. 公共用水域、地下水の水質汚濁に関すること。 2. 海域等の底質汚染に関すること。 3. 工場等の排水に関すること。 4. 土壌汚染及び地盤沈下に関すること。	主席研究員 多田薫子 主席研究員 笹田康子 主任研究員 千葉貴子 技 師 岡井隆 嘱 託 石原 暁
		化学物質	1. 水質の化学物質汚染に関すること。 2. 底質の化学物質汚染に関すること。 3. 工場等の排水の化学物質に関すること。	主席研究員 石川英樹 主任研究員 鈴木佳代子 技 師 高尾仁士
大 気 常 時 監 視	大気汚染	1. 環境大気の汚染に関すること。 2. 工場等から排出される煤煙等に関すること。 3. 室内環境に関すること。	主席研究員 西原幸一 主席研究員 大津和久 主任研究員 大西ひとみ 主任技師 野崎 一伸	
	騒音・振動・悪臭	1. 騒音・振動及び悪臭に関すること。	主席研究員 串田光祥 主任研究員 内田順子 主任研究員 田村 章	
	常時監視	1. テレメータシステムによる大気汚染常時監視に関するこ と。 2. 大気汚染の緊急時の措置に関すること。 3. 環境放射能に関すること。	主席研究員 日野康良 主任技師 岩下 陽子	
	自然環境	1. 野生動植物の調査、保護、増殖など自然環境の保全に 関すること。	主任研究員 白井康子 嘱 託 張 志保子	

課・部門	担 当	所 掌 事 務	職 氏 名
廃棄物・リサイクル部門	廃 棄 物	1. 廃棄物に係る環境影響に関する事。 2. 廃棄物の排出抑制及び適正処理に関する事。	主 席 研 究 員 山 本 務 主 席 研 究 員 久 保 正 弘 主 任 研 究 員 安 藤 友 継
	資 源 化 ・ リサイクル	1. 廃棄物等の資源化・リサイクルに関する事。	主 席 研 究 員 藤 田 久 雄 主 任 研 究 員 六 車 満 由 美 主 任 技 師 真 鍋 潔 司
保 健 科	微 生 物	1. 食品細菌等に関する事。 2. 細菌感染症等に関する事。 3. 病原細菌等に由来する危機管理に関する事。 4. 残留抗生物質等に関する事。 5. 衛生害虫等に関する事。 6. 原虫等に関する事。 7. 遺伝子検査等に関する事。	主 席 研 究 員 多 田 千 鶴 子 主 席 研 究 員 砂 原 千 寿 子 主 任 研 究 員 (兼) 山 中 康 代 生 主 任 技 師 三 谷 芽
	ウ イ ル ス	1. ウイルス感染症等に関する事。 2. ウイルス等に由来する危機管理に関する事。 3. クラミジア, リケッチャ感染症等に関する事。 4. 実験動物等に関する事。	主 席 研 究 員 三 木 一 男 主 任 研 究 員 亀 山 妙 子
学 部 門	生 活 科 学	1. 食品の化学物質に関する事。 2. 家庭用品に関する事。 3. 遺伝子組換え食品の解析に関する事。 4. 食物アレルギーに関する事。 5. 医薬品, 毒劇物に関する事。 6. 化学物質の緊急危害に関する事。	主 席 研 究 員 山 下 み よ 子 主 席 研 究 員 西 岡 千 鶴 織 主 任 技 師 野 崎 香
	臨 床 科 学	1. 先天性代謝異常に関する事。 2. 神経芽細胞腫に関する事。 3. 血液検査に関する事。	主 席 研 究 員 野 田 陽 子 主 任 研 究 員 土 取 み ゆ き 主 任 技 師 植 田 晶 子

IV 職員の異動

1 転入

年月日	職名(配属)	氏名	旧所属
15.4.1	主席研究員(環境科学部門)	串田光祥	産業振興課(かがわ産業支援財団)
15.4.1	主席研究員(廃棄物・リサイクル部門)	久保正弘	県営水道管理事務所
15.4.1	主査(総務企画課)	中村優子	川部みどり園
15.4.1	主任研究員(環境科学部門)	牛野照子	中央病院
15.4.1	技師(環境科学部門)	岡井隆	採用
15.4.1	嘱託(環境科学部門)	張志保子	採用

2 転出

年月日	職名(配属)	氏名	新所属
15.3.31	環境保健研究センター所長	横井聰	退職
15.3.31	研究主幹(保健科学部門)	十川聖三	退職
15.4.1	主席研究員(廃棄物・リサイクル部門)	片山正敏	直島環境センター
15.4.1	主席研究員(保健科学部門)	好井信子	中讃保健所琴平支所
15.4.1	主任主査(総務企画課)	大山多美子	東讃県税事務所
15.3.31	嘱託(環境科学部門)	平井真紀子	退職

3 配置換

年月日	職名(配属)	氏名	旧職名(配属)
15.4.1	環境保健研究センター所長	藤田淳二	次長(環境科学部門)
15.4.1	次長(環境科学部門)	塚本武	研究主幹(保健科学部門)

4 昇任

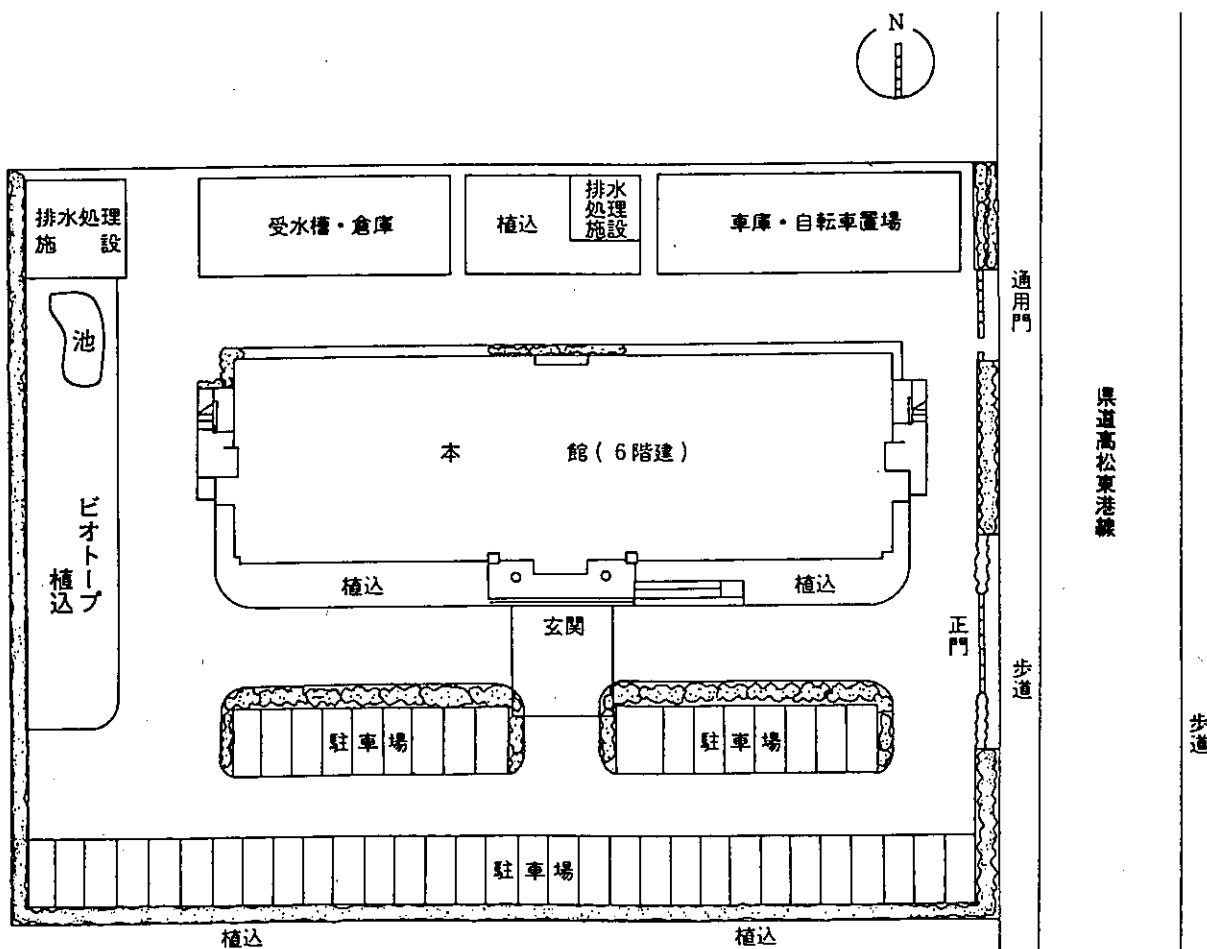
年月日	職名(配属)	氏名	旧職名(配属)
15.6.1	主任研究員(廃棄物・リサイクル部門)	安藤友継	主任技師(廃棄物・リサイクル部門)

V 庁舎及び施設概要

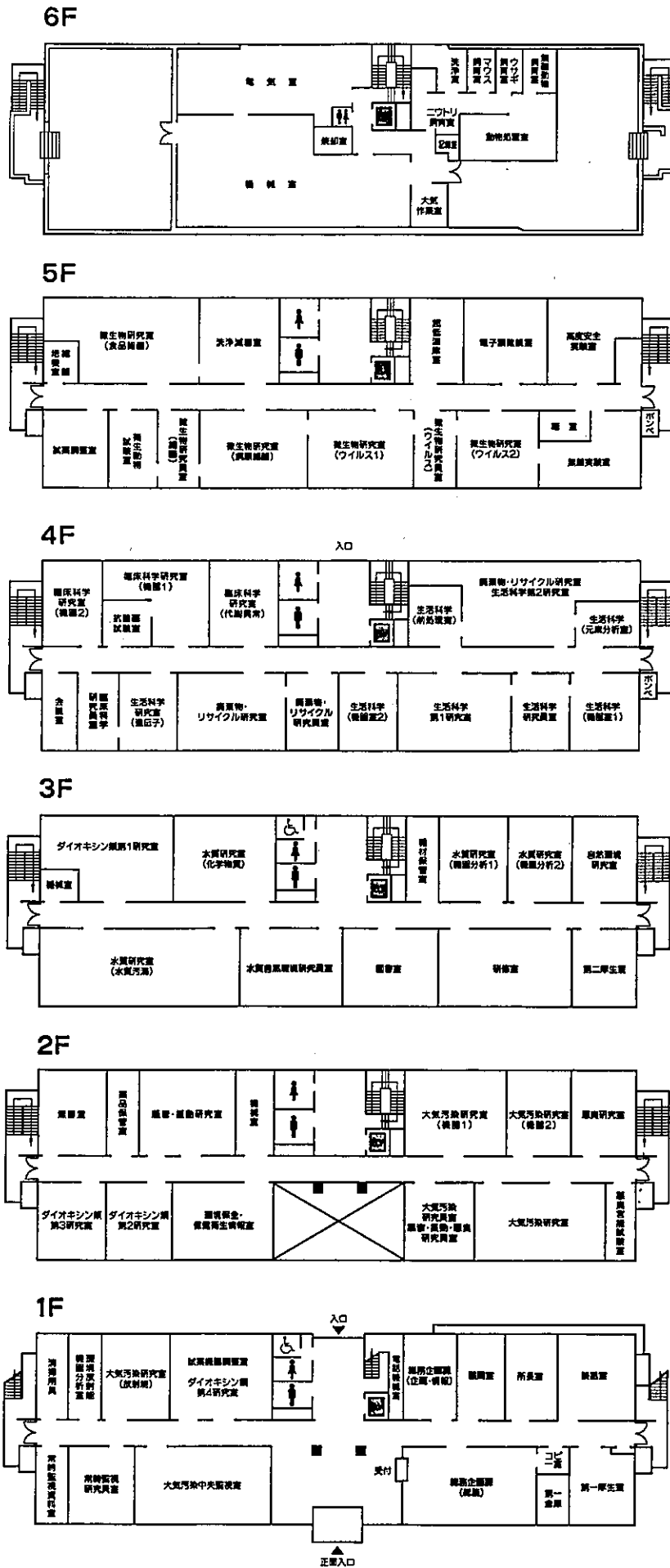
1 建 物

(1) 敷地面積	4,999.89m ²	
(2) 建築面積	5,504.51m ²	(延面積)
(3) 建物概要		
本館 (6階建)	5,083.60m ²	
付 属 棟	420.91m ²	
(ポンプ室・倉庫)	124.00m ²	
(排水処理施設)	96.91m ²	
(倉庫・車庫)	200.00m ²	

2 庁舎配置図



3 庁舎配置図



VI 経 理 状 況

1 平成14年度 歳 入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 済 額	不 能 欠 損 額	収 入 未 済 額
使用料及び手数料	32,363,604	32,363,604	0	0
衛生手数料	32,363,604	32,363,604	0	0
予 防 費	1,480,000	1,480,000	0	0
薬 務 費	44,170	44,170	0	0
環境保全費	13,398,420	13,398,420	0	0
衛生研究所費	17,441,014	17,441,014	0	0
諸 収 入	728,254	728,254	0	0
雑 収 入	728,254	728,254	0	0
雑 収 入	63,904	63,904	0	0
保険料立替金	182,112	182,112	0	0
環境保全費	366,167	366,167	0	0
衛生研究所費	116,071	116,071	0	0
計	33,091,858	33,091,858	0	0

2 平成14年度 歳 出

(単位：円)

款 項	目	節	支 出 済 額
衛 生 費			257,946,519
公衆衛生費			91,163,620
	結 核 対 策 費	旅 需 用 費	328,260
		負担金補助及び交付金	103,260
		費用	200,000
	予 防 費	旅 需 用 費	25,000
		役 務 費	6,524,836
		費用	316,031
		費用	5,988,805
	母 子 保 健 費	共 済 費	220,000
		金 費	33,326,134
		金 費	600,890
		費用	4,052,280
		費用	362,020
		役 務 費	23,550,000
		委 託 料	140,000
		使用料及び賃借料	611,000
	衛 生 研 究 所 費	使 用 料 及 び 賃 借 料	4,009,944
		報 酬 費	50,984,390
		共 済 費	2,904,000
		金 費	725,840
		費用	2,614,348
		役 務 費	710,924
		委 託 料	20,833,000
		使用料及び賃借料	704,000
		使用料及び賃借料	16,448,458
		使用料及び賃借料	7,455

(単位：円)

款 項	目	節	支 出 済 額	
環 境 衛 生 費		備 品 購 入 費	5,917,065	
		負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	119,300	
		食 品 衛 生 指 導 費		166,542,899
				16,562,752
		共 濟 費		489,461
				3,319,300
		旅 需 役 委 備 品 購 入 費		505,464
				9,350,000
		環 境 衛 生 指 導 費		32,000
				2,739,555
		自 然 保 護 費		126,972
				35,312,682
		環 境 保 全 費		1,665,234
				890,864
		自 然 保 護 費		29,409,529
				254,700
		環 境 保 全 費		3,092,355
				283,000
		環 境 保 全 費		25,000
				258,000
環 境 保 全 費		114,384,465		
		4,220,470		
環 境 保 全 費		2,851,880		
		14,428,000		
環 境 保 全 費		743,400		
		2,498,417		
環 境 保 全 費		60,074,000		
		2,225,887		
環 境 保 全 費		17,577,132		
		607,222		
環 境 保 全 費		9,058,057		
		100,000		
環 境 保 全 費		240,000		
		240,000		
環 境 保 全 費		50,000		
		140,000		
環 境 保 全 費		50,000		
農 林 水 産 業 費			2,787,544	
農 業 費	農 業 試 験 場 費		574,764	
			574,764	
畜 産 業 費	家 畜 保 健 衛 生 費		59,764	
			505,000	
畜 産 業 費	家 畜 保 健 衛 生 費		10,000	
			1,253,000	
畜 産 業 費	家 畜 保 健 衛 生 費		716,000	
			716,000	

(単位：円)

款 項	目	節	支出 済 額
林 業 費	畜 産 試 験 場 費	需 用 費	537,000
			537,000
水 産 業 費	林 業 振 興 事 業 費	賃 金	615,780
			615,780
	水 産 業 振 興 費	賃 金	344,000
			242,000
			42,000
	水 産 試 験 場 費	賃 金 費	200,000
			102,000
		賃 金 費	35,000
			67,000
計			260,734,063

VII 業務概要

1 環境科学部門 水質担当

(1) 環境庁委託・補助又は県単独事業

① 環境水質・底質等の分析

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
瀬戸内海水質汚濁調査 水質監視測定調査	委託 補助	県内一円(海域)	海水	10	5,7,10,1	80	920
			河川水	36	4~3	118	1424
			海水	29	4~3	348	348
			地下水	30	2	30	120
			地下水	49	1~2	49	147
水質監視測定調査	県単	県内一円	底質	5	4	5	44
			地下水	54	4~3	120	878
地下水汚染追跡等調査	県単	県内一円	地下水	17	5,8,11,2	54	315
地下水補完調査	県単	県内一円	地下水・排水	17	5,8,11,2	54	315
瀬戸内海環境情報基本調査	委託	県内一円(海域)	底質	12	8	12	144
要監視項目水質測定調査	委託	県内一円	河川水	15	7,9,10,2,3	30	660
			地下水	5	7,2	5	110
水生生物を活用した水質浄化実証事業 に係る水質調査等	委託	大野原町	浄化実証水質	7	5~3	76	988
			流域水質	7	5~3	28	364
			植物体	6	7,8,11	65	506
自然を活用した水環境改善事業の普及	委託	津田町	海水	2	7,2	8	56
			底質	5	7	5	25
海域の水質分析クロスチェック ゴルフ場使用農薬流出実態調査	県単 補助	豊浜沖 県内一円	海水	3	4,11	18	36
			池水	22	6	22	1100
			海水	1	6	1	1
化学物質環境汚染実態調査 1)暴露量調査 2)モニタリング調査 有機スズ化合物生物モニタリング調査	委託 県単	高松港 高松港 県内一円	海水・底質	3	10	6	24
			海水・底質	3	10	6	174
			生物	3	7	3	6
			海水	3	7	3	6
			海水	7	6,7,2	10	258
豊島事業場に係る周辺環境調査	県単	豊島	間隙水	7	6,7,2	10	256
			底質	9	6,7,2	14	210
			植物	4	6	4	8
			海水	5	5,7,10	10	179
直島における事前環境モニタリング調査	県単	直島町	底質	4	3	3	62
			海水	3	3	3	63
海上輸送における周辺環境調査	県単	豊島・直島沖	底質	3	3	3	114
ダイオキシン類環境監視調査	補助	県内一円	河川水	25	12	25	25
			地下水	22	11,12,1,2	22	22
			海水	10	6	10	10
			底質	11	8	11	11
			土壌	50	11,12,1,2	50	50
			排水	3	9	3	3

② 工場・事業場監視調査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
特定事業場排水調査	県単	坂出・直島	排水	78	6,9,11,2	173	738
小規模事業場汚濁負荷量削減検討調査	県単	県内一円	排水	120	5~3	120	360
総量規制基準監視調査	県単	県内一円	排水	4	1~3	96	288
環境測定分析統一精度管理調査	—	—	模擬水質試料	—	10	2	8
	—	—	模擬底質試料	—	10	1	3

③ 水道水質等検査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
水道水浄水全項目検査	—	県内一円	水道水	14	5,6,10,11	14	645
水道水原水全項目検査	—	県内一円	ダム水・河川水	17	5,6,10,11	17	688
その他の水道検査	—	高松市	水道水	2	10	2	2
マツクイ虫防除に伴う残留農薬検査	—	県内一円	池の水・畦田水等	14	6,7	69	69

④ 苦情に係る調査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
苦情処理等	県単	三木町 綾上町, 香南町 三木町, 善通寺市 三木町 綾上町, 三木町 三木町	河川水	5	4,9	8	150
			池の水	4	5,9	4	9
			地下水	5	4,6	5	152
			水田水	1	9	1	7
			排水	5	4,5,9	6	120
			土壌	6	9	6	60

⑤ 市町からの依頼検査

調査の種類	市町名	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
市町依頼検査	高松市	河川水	4	5,10	8	40
		排水	2	6	2	2
	坂出市	底質	6	5	6	60
		池水	1	5	1	9
	大内町	河川水	1	10,1	2	12
		排水	1	8,10,1	3	20
	三木町	河川水	2	4~3	8	24
		池の水	11	4~3	44	140
	香川町	地下水	2	10	2	52
		排水	2	10	2	20
直島町	海水	1	5,1	2	38	

2 環境科学部門 大気汚染・騒音・振動・悪臭担当

(1) 大気汚染関係の調査

① ダイオキシン類対策調査

調査名	地点数	調査月	件数
環境大気汚染状況の常時監視	6	5, 8, 11, 2	24
排出基準の遵守状況の監視	37	4~3	37

② 有害大気汚染調査

調査項目	地点数	調査月	件数
テトラクロロエチレン トリクロロエチレン ベンゼン ジクロロメタン	4	4~3	192
アクリロニトリル アセトアルデヒド 塩化ビニールモノマー クロロホルム 1,2ジクロロエタン ニッケル化合物 ヒ素及びその化合物 1,3ブタジエン ベリリウム及びその化合物 ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物 クロム及びその化合物 水銀及びその化合物 ベンゾ(a)ピレン 酸化エチレン	4	4, 6, 8, 10, 12, 2	360

③ アスベスト調査

調査名	地点数	調査月	件数
大気環境測定	4	7, 10, 1	36

④ 酸性雨及び酸性霧実態調査

調査名	採取方法	地点数	試料数	分析項目
酸性雨実態調査	全降雨調査	1	67	11項目 量, pH, EC, SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , K ⁺ , Na ⁺
	降下物調査	2	85	
酸性霧実態調査	霧センサー付き採取装置	1	17	

⑤ フロン環境調査

調査地域	調査月	試料数	分析項目
高松市	4, 7, 10, 1月(各3日)	12	フロン11, フロン12, フロン13
満濃町		12	

⑥ ばい煙発生施設等立入調査

項目	ばいじん量	硫黄酸化物	窒素酸化物	塩化水素	カドミウム	銅	鉛	重油中イオウ分
試料数	25	13	12	9	2	2	2	26

⑦ 豊島廃棄物等処理事業に伴う暫定的な環境保全措置終了時の含水率調整に伴う発生ガス等の実験

調査名	地点数	調査月	項目数	件数
室内での発生ガス等予備調査	4	7	90	6
フィールドでの発生ガス等の調査	10	7	1,455	97
現地実験時の作業環境等	9	7	549	29

⑧ 環境測定分析統一精度管理調査

調査月	項目数	件数
11	4	1

⑨ 平成14年度酸性雨測定分析精度管理調査

調査月	項目数	件数
2	10	2

(2) 悪臭関係の調査

① 豊島廃棄物等処理事業に伴う暫定的な環境保全措置終了時の悪臭調査

調査項目	地点数	調査月	件数
悪臭物質22項目	敷地境界	4	1

② 豊島廃棄物等処理事業に伴う中間処理施設完成直後の環境計測

調査項目	地点数	調査月	件数
悪臭物質22項目	敷地境界	3	1

(3) 騒音関係の調査

① 航空機騒音調査

調査地点数	調査月	測定日数	測定航空機数		件数
			1日平均	総数	
3	6, 10	7	20	280	42

② 瀬戸大橋騒音調査

調査地点	調査月	測定日数	列車本数	件数
2	5	2	149	298
4	12	2	151	604

③ 豊島廃棄物等処理事業に伴う騒音調査

調査名	調査地点	調査回数	項目数	件数
豊島暫定的な環境保全措置終了時の調査	敷地境界	1	4	96
豊島高度排水処理施設工事ピーク時	敷地境界	1	4	96
直島中間処理施設工事ピーク時	敷地境界	1	4	96
直島測定地点変更クロスチェック	敷地境界	1	4	96

④ 苦情処理に伴う低周波音調査

調査地点	回数	項目	件数
1	1	G特性音圧レベル	1

(4) 振動関係の調査

調査名	調査地点	調査回数	項目数	件数
豊島暫定的な環境保全措置終了時	敷地境界	1	3	72
豊島高度排水処理施設工事ピーク時	敷地境界	1	3	72
直島中間処理施設工事ピーク時	敷地境界	1	3	72
直島測定地点変更クロスチェック	敷地境界	1	3	72

(5) 調査研究事業

有害化学物質の採取方法等の研究(平成14~16年度)

大気汚染防止法で有害性が特に懸念されるアセトアルデヒド等22の「優先取り組み物質」について、詳細に調査するとともに、常時監視項目との関係を検討している。

地点数	回数	項目	件数
1	19	2	38

(6) 環境庁委託調査, 市町依頼検査等

① 化学物質環境汚染実態調査(大気系)

調査地点	調査月	項目数	件数
県高松合同庁舎	11	33	12

② 一般環境大気汚染調査

項目名	地点数	調査月	件数
硫黄酸化物	3	4~3	36
降下ばいじん	15	10	4~3
		5	5, 10
浮遊粒子状物質	2	4~3	24
二酸化窒素 (トリエタノールアミン法)	14	10	4~3
		4	5, 10

③ 有害大気汚染物質の検査

項目	地点数	調査月	件数
ベンゼン等9項目	1	4~3	108
アルデヒド2項目			24
ヒ素及びその化合物			12
カドミウム等4項目			48
水銀及びその化合物			12
ベンゾ(a)ピレン			12
酸化エチレン			12

④ 室内空気中の化学物質検査

項目	回数	件数
ホルムアルデヒド トルエン キシレン パラジクロロベンゼン	1	4

⑤ 悪臭測定

項目数	回数	件数
22	2	44

⑥ 騒音測定

項目数	測定日数	件数
4	2	192

⑦ 振動測定

項目数	測定日数	件数
3	2	144

⑧ その他の項目測定

項目	件数
オゾン濃度	1
ノルマルヘキサン抽出物質	1

⑨ 重油中の硫黄分検査

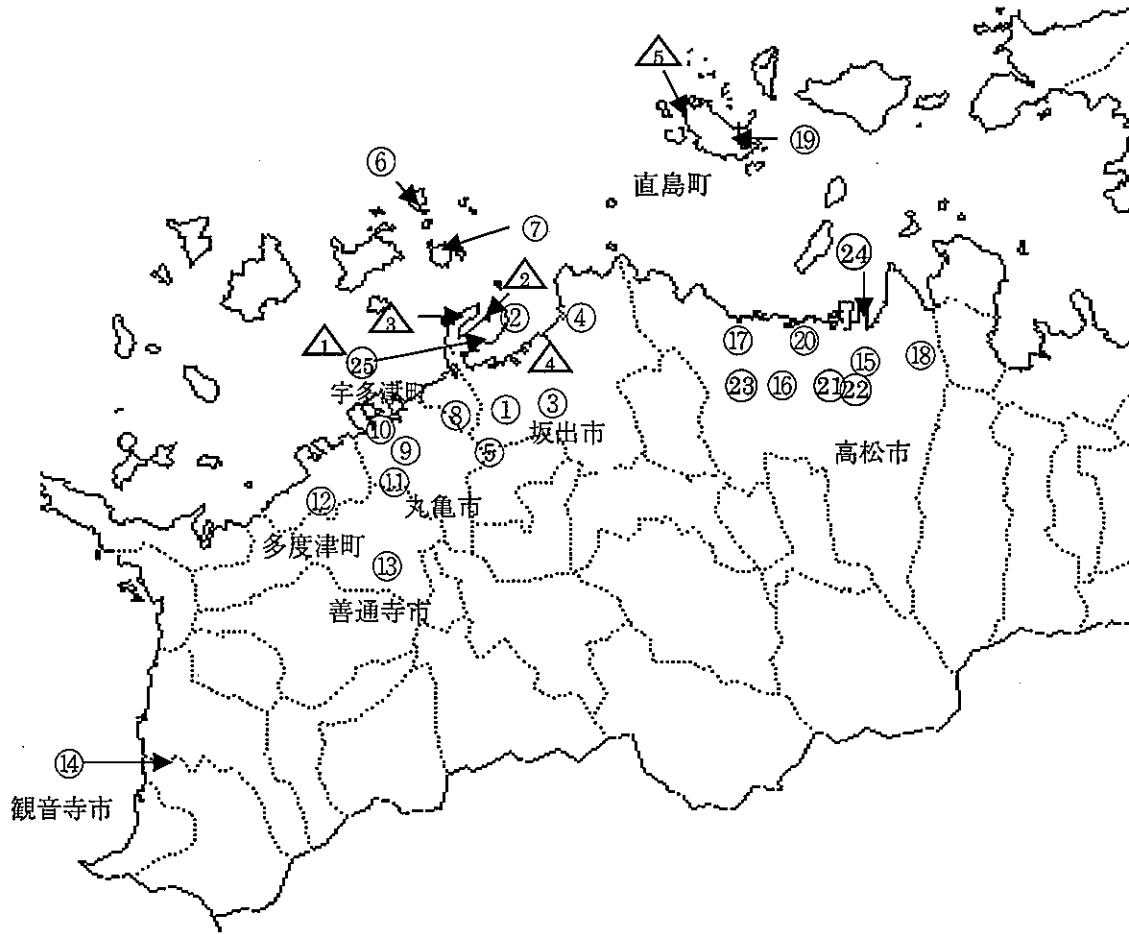
項目	件数
硫黄分	18

3 環境科学部門 常時監視担当

(1) 大気汚染監視事業

① テレメータシステムによる大気汚染常時監視

大気汚染監視測定網



環境観測局		煙源観測局
1 坂出市役所	14 観音寺市役所	1 四国電力坂出發電所
2 瀬居島	15 高松競輪場	2 三菱化学坂出事業所
3 林田出張所	16 高松南消防署	3 コスモ石油坂出製油所
4 相模坊神社	17 勝賀中学校	4 讃岐塩業
5 川津	18 高松東消防署	5 三菱マテリアル直島製錬所
6 櫃石島	19 直島町役場	
7 岩黒島	20 高松市役所	
8 宇多津町役場	21 栗林公園前	
9 丸亀市役所	22 花園	
10 丸亀競艇場	23 鶴尾公民館	
11 城坤小学校	24 環境保健研究センター	
12 多度津町役場	25 四国電力坂出發電所	
13 普通寺市役所		

環境観測局測定項目

観測局		設置主体		測定項目										
				二氧化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物	オキシダント	一酸化炭素	炭化水素	風向・風速	気温	湿度	日射量	
一般環境大気測定局	坂出市	1	坂出市役所	坂出市 県出市 出市 出市 出市 出市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	瀬居出張所		●	●	●	○	○	○	○	○	○	
		3	林田坊		●	●	●	●	○	○	○	○	○	
		4	相模		●	●	●	○	○	○	○	○	○	
		5	川櫃		●	○	○	○	○	○	○	○	○	
		6	石黒		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		7	岩		●	●	○	○	○	○	○	○	○	
	8	宇多津町役場	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	丸亀市	9	丸亀市役所	丸亀市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		10	丸亀競艇学校		●	●	●	●	○	○	○	○		
11	城小	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
12	多度津町役場	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
13	普通寺市役所	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
14	観音寺市役所	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
高松市	15	高松競輪場	高松市	●	●	●	●	○	○	○	○	○		
	16	高松南消防署		●	●	●	●	○	○	○	○			
	17	勝賀中消防署		●	●	●	●	○	○	○	○			
	18	高松東消防署		●	●	●	●	○	○	○	○			
19	直島町役場	町	●	●	●	●	○	○	○	○				
自動車排出ガス測定局	高松市	20	高松市役所前園	高松市	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
		21	栗林公園		○	○	○	○	○	○	○	○		
		22	花尾公民館		○	○	○	○	○	○	○	○		
		23	鶴尾公民館		○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	高松市	24	環境保健研究センター	県	○	○	○	○	○	○	○	○		
	坂出市	25	四国電力坂出發電所	四国電力	○	○	○	○	○	○	○	○		

○ 県設置
● 市・町・企業設置

煙源観測局別測定項目

観測局		測定項目									
		硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度	ガス使用量	重油使用量	石炭使用量	ガス中硫黄分	排出ガス流量・流速	空気流量	残存酸素濃度	発電量
1	四国電力坂出發電所	○	○							○	○
2	三菱化学坂出事業所	○	○	○			○			○	
3	コスモ石油坂出製油所	○	○					○		○	
4	讚岐塩工業所	○	○		○	○				○	
5	三菱マテリアル直島製錬所	○	○							○	

大気汚染自動測定機稼働状況

測定項目	二酸化硫黄		浮遊粒子状物質		一酸化窒素		二酸化窒素		オキシダント		一酸化炭素		非メタン炭化水素		メタン	
	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率
稼働率	19	98.9	21	98.8	21	99.0	21	99.0	13	93.0	10	99.1	5	96.7	5	96.7

備考：稼働率が100%に達しない理由は、自動測定機の定期点検等による。

緊急時 発令状況 (オキシダント)

状況	地域		中讃地域	高松地域	直島地域
	発令日数	予報			
発令日数	0	0	0	0	0
発令回数内訳	予報	1	0	0	0
	注意報	0	0	0	0

② 大気移動測定車による大気汚染調査

調査地点	調査日数	調査項目
5 地点	108日	二酸化硫黄他 6項目

③ 豊島における環境調査

区分	調査地点	調査日数	調査項目
土庄町豊島	1 地点	43日	二酸化硫黄他 8項目

④ 直島における環境調査

区分	調査地点	調査日数	調査項目
三菱グランド・オの神	2 地点	22日	二酸化硫黄他 6項目

(2) 環境放射能監視事業

環境放射能水準調査 (文部科学省委託事業)

調査項目	検体種類数	調査月	検体数
全ベータ放射能測定	1	4~3	
Ge検出器による人工γ線放出核種の機器分析	12	4~3	
サーベイメーターによる空間放射線量率測定	1	4~3	12
モニタリングポストによる空間放射線量率測定	1	4~3	365
放射能分析確認事業	6	5, 6, 7, 8	

4 環境科学部門 自然環境担当

(1) ウニ卵を用いた環境ホルモン影響調査

環境ホルモンが、生態系に及ぼす影響をウニ卵の受精・発生過程により評価している。

(2) ニッポンバラタナゴの2亜種の遺伝子の比較に関する研究

ニッポンバラタナゴについて、遺伝子の比較に関し香川大学と共同研究を実施している。

(3) 豊島周辺環境モニタリング調査 (生態系調査)

豊島周辺環境モニタリングのうち、生態系調査 (ウニ卵発生調査) を年2回実施した。

事業名	検体数	項目数
豊島周辺環境モニタリング調査 (生態系調査)	32	32

(4) 水生生物等調査

県の実施する河川改修区域において、ホタルの生息状況、水質等について調査を実施した。

事業名	検体数	項目数
水生生物等調査	3	18

(5) 魚毒性試験

河川、ため池等での魚類のへい死事故にかかる魚毒性試験 (急性毒性試験) を実施した。

事業名	検体数	項目数
魚毒性試験	7	7

5 廃棄物・リサイクル部門

国からの委託事業及び県単独事業，並びに高松市等からの依頼検査等を実施した。

調査の種類	事業別	調査地域	調査月	検体区分	調査地点	項目数
産業廃棄物処分場排水調査	県単	県下一円	4～3	浸出水	58	1657
	依頼	高松市	6～2	浸出水	13	417
豊島事業場における環境等調査	県単	豊島	4～3	沈砂池水質	2	172
				雨水枡堆積物	4	4
				岩盤	2	22
				土壌	8	9
				廃棄物	1	2
				浸出水	5	48
				地下水	7	94
豊島廃棄物等の掘削・運搬マニユアル作成に係る現地実験等調査	県単	高松市	10	廃棄物	5	289
		豊島	10	廃棄物	23	551
豊島高度排水処理施設引渡し性能試験	依頼	豊島	3	原水，処理水	15	259
ばい煙発生施設立入調査	県単	県下一円	4～3	ばいじん，焼却灰	18	35
工場排水処理汚泥調査	県単	詫間町	6	汚泥	1	4
香南町土壌調査	県単	香南町	11	土壌	1	27
財田町不法投棄現場に係る周辺環境等調査	県単	財田町	7	浸出水，廃棄物	4	112
三木町最終処分場浸出水調査	県単	三木町	4	浸出水	1	1
廃棄物焼却炉自主検査	県単	県下一円	7，11	ばいじん，焼却灰	5	6
環境測定分析統一精度管理	—	—	11	ばいじん	—	2
安定型産業廃棄物等の基準等に関する検討調査	委託	—	3	廃棄物	8	360

6 保健科学部門 生活科学担当

- ・生活衛生課、薬務感染症対策課、水産課からの行政検査、それらに関連する調査研究並びに市町及び一般からの依頼検査を実施した。
- ・平成14年度は、輸入野菜の残留農薬基準違反が全国的に問題になったため、輸入食品中の残留農薬及び食品添加物の検査が、大幅に増加した。
- ・無承認無許可医薬品に該当する一部の健康食品による健康被害が、全国で相次ぎ、県内でも発生したことに伴い、健康食品等の医薬品成分検査を多数実施した。
- ・平成13年から表示が義務付けされた遺伝子組換え食品の検査を新たに開始した。
- ・検査の概要は、次の表1、2、3のとおりである。

表1 食品・家庭用品検査件数

区分	事業名・検査項目	検体数		備考
		行政	依頼	
食	輸入食品の衛生対策事業・残留農薬	44	20	行政：有機リン、有機塩素等、8系統農薬94成分 高松市依頼：同上 8系統農薬77成分
	〃 ・防黴剤	4	7	行政：オルトフェニルフェノール、ジフェニール、チアベンダゾール等 高松市依頼：同上
	〃 ・食品添加物	57		保存料、甘味料、着色料、漂白剤等19成分
	食品添加物規格試験	10		県内製造食品添加物について、食品添加物公定書に基づく規格試験
	県内産農作物中の残留農薬検査	27	2	行政：有機リン、有機塩素等、8系統農薬77成分 高松市依頼：同上 8系統農薬76成分
	食品(魚、肉、卵、牛乳等)中の水銀、PCB等調査	57	9	行政：PCB、水銀、有機塩素系農薬等14成分 高松市依頼：同上
	畜水産食品中の残留有害物質モニタリング調査	8	6	行政：卵、魚について合成抗菌剤7成分 高松市依頼：同上
	魚介類中の水銀、PCB検査	29		水産課計画
	遺伝子組換え食品衛生対策事業	12		大豆・ジャガイモ・トウモロコシ加工食品について定量及び定性試験
	食品添加物検査	7		ソルビン酸・フェロシアン化合物(違反疑い)
品	食品の苦情に関する検査 食中毒に関する検査	15	6	食肉(金属類)、調理パン(有機溶剤)、しじみ佃煮(鉍油・不揮発性アミン等) 高松市依頼：バイ貝による神経毒(テトラミン)
	食品検査内部精度管理 食品検査外部精度管理(重金属・農薬)	204 10		検査実施項目(農薬、添加物、有害物質等) Pb, Cd, クロルピリホス, マラチオン
	家庭用品の衛生検査	16	6	行政：繊維製品(防炎加工剤：トリス-BP, ビス-BP), 羊毛製品(防虫加工剤 デイルドリン, DTTB), 家庭用エアゾール(溶剤：トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン)6成分 高松市依頼：繊維製品(防炎加工剤：同上), 家庭用エアゾール(溶剤：同上, 噴射剤：塩化ビニールモノマー)5成分
	計	500	56	

表2 医薬品・毒劇物・温泉検査件数

区分	事業名・検査項目	検体数		備考
		行政	依頼	
医薬品・毒劇物	医薬品一斉取締りに伴う検査	4		県内製造医薬品について医薬品製造承認書の規格に基づく製品検査等
	無承認無許可医薬品検査	16		健康食品等について、N-ニトロソフェンフルラミン、フェンフルラミン、トリヨードチロニン、チロキシシ、ジアゼパム、フェノバルビタール、塩酸フェンテルミン等9成分
	医薬品の苦情に関する検査	1		安息香酸、シアン、アジ化ナトリウム、有機リン系農薬、金属等42成分
	電気メッキ事業場排水検査	7		遊離シアン
温泉	温泉小分析		23	市町等依頼：PH、炭酸水素イオン、鉄等
	温泉精密分析		17	市町等依頼：PH、温度、陽イオン、陰イオン等
	温泉に係るラドン分析		32	市町等依頼
	計	28	72	

表3 医薬品・毒劇物・温泉検査件数

日常食品中の汚染物質摂取量調査	共同研究 (国立医薬品食品衛生研究所)
食品添加物一日摂取量調査	
組換えDNA技術応用食品検査方法	

7 保健科学部門 微生物担当

(1) 細菌関係 食品細菌

① 食品衛生に係る事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
腸炎ビブリオ食中毒防止対策事業	72	144	カレイ, コノシロ等のビブリオ汚染調査 (腸炎ビブリオ NAGビブリオ)
カンピロバクター等汚染状況実態調査事業	36	108	食鳥肉等の汚染調査 (細菌数 カンピロバク ターサルモネラ属菌)
輸入食品の食品衛生対策事業	33	111	輸入チーズ, 漬物原料, 瓶詰め食品等 (細菌数 大腸菌群 ポツリヌス菌 リステリ ア菌 腸球菌 緑膿菌 残留抗生物質 異物)
腸管出血性大腸菌O157汚染実態調査	70	35	給食, 惣菜, 生野菜等

② 乳肉衛生事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
畜水産物中の残留抗生物質検査	14	14	鶏卵, 養殖魚
ナシフグ毒性検査	20	20	香川・岡山両県の瀬戸内海域産ナシフグの安 全確認調査

③ 食中毒・有症苦情調査

調査事業名	検体数	項目数	備考
細菌性食中毒・有症苦情	423	8625	腸炎ビブリオ サルモネラ属菌 病原性大腸 菌等食中毒起因菌21種 細菌数 大腸菌群等
ウイルス性食中毒・有症苦情	46	138	SRSV Adeno40/41 Rota A
フグ中毒	7	7	フグ毒
苦情食品	21	337	食中毒菌21菌種 細菌数 大腸菌群 酵母 カビ 魚類寄生虫等

④ 調査研究等

調査事業名	検体数	項目数	備考
魚介類のビブリオ・バルニフィカス汚染調査	72	72	瀬戸内海産魚介類の汚染調査
香川県試験研究機関共同研究事業 (県特産物の需要拡大に関する研究)	19	323	讃岐黒豚を利用した特徴ある非加熱食肉製品 の開発

⑤ その他

調査事業名	検体数	項目数	備考
衛生害虫同定	12	12	ヒラチャタテ コクヌストモドキ イエオニ グモ等

(2) 細菌関係 病原細菌

① 感染症発生動向調査事業

調 査 事 業 名	検体数	項目数	備 考
感染性胃腸炎	82	1558	サルモネラ属菌 カンピロバクター 病原大腸菌 ブドウ球菌 エルシニア等19菌種
溶連菌感染症	12	12	A群, B群等溶血連鎖球菌
細菌性髄膜炎	2	10	髄膜炎菌 ヘモフィルス属菌 大腸菌連鎖球菌 真菌等
サルモネラ同定	35	35	血清型別

② 健康危機管理に関する検査

調 査 事 業 名	検体数	項目数	備 考
炭疽菌検査	7	7	科学捜査研究所からの鑑定囑託

③ 疫学調査事業

調 査 事 業 名	検体数	項目数	備 考
二類感染症検査	1	1	赤痢菌同定検査
三類感染症検査	37	37	腸管出血性大腸菌
遺伝子学的疫学調査	63	63	感染症及び食中毒分離菌のPFGE検査 (腸管出血性大腸菌 サルモネラ属菌)

④ その他の細菌検査

調 査 事 業 名	検体数	項目数	備 考
厚生科学研究 新興再興感染症研究事業 (髄膜炎菌保菌調査)	83	249	髄膜炎菌 インフルエンザ菌 溶血レンサ球菌
抗酸菌検査	53	106	結核菌及び非結核性抗酸菌
その他の細菌検査	4	12	X船造影剤(細菌数 大腸菌群 緑膿菌 黄色ブドウ球菌 真菌)等

⑤ クリプトスポリジウム等実態調査

調 査 事 業 名	検体数	項目数	備 考
水道水源水域におけるクリプトスポリジウム等 実態調査	10	20	クリプトスポリジウム ジアルジア

(3) 細菌関係 依頼検査

高松市

項目名	検体数	項目数	備考
食中毒・有症苦情調査	129	662	腸炎ビブリオ, サルモネラ属菌等 食中毒起因菌21種, 細菌数等
畜水産物中の残留抗生物質検査	6	6	鶏卵
衛生害虫同定検査	2	2	
抗酸菌検査	4	8	

一般依頼検査

項目名	検体数	項目数	備考
食品細菌検査	40	140	細菌数, 大腸菌群, 黄色ブドウ球菌等
衛生害虫同定	2	2	
無菌試験	60	60	血液製剤等 (細菌, 真菌)

(4) ウイルス関係

① 感染症発生動向調査事業

疾患名	調査数	項目数	対象ウイルス
呼吸器系疾患	942	8478	インフルエンザウイルス等9項目
感染性胃腸炎	194	1940	ロタウイルス等10項目
無菌性髄膜炎	463	3241	コクサッキーウイルスB群, エコーウイルス等7項目
眼疾患	39	195	アデノウイルス等5項目
手足口病	21	105	コクサッキーウイルスA群等5項目
ヘルパンギーナ	9	36	コクサッキーウイルスA群等4項目
口内炎	3	12	ヘルペスウイルス等4項目
その他の疾患	344	3784	ムンプスウイルス等11項目

② 感染症流行予測調査事業

調査事業名	調査数	項目数	備考
新型インフルエンザ系統調査	304	304	カモ, ブタからのウイルス分離
新型インフルエンザ感染源調査	160	480	抗動物型ウイルス3項目に対するブタ抗体保有調査
インフルエンザ感受性調査	225	1125	ヒト年令群別抗体保有調査
日本脳炎感染源調査	160	160	JaGArO 1株に対するブタ抗体保有調査
麻疹感受性調査	225	225	ヒト年令群別抗体保有調査
エコーウイルス11型感受性調査	413	413	Gregory株に対するヒト年令群別抗体保有調査

③ 後天性免疫不全症候群予防対策事業

検査項目	検体数	備考
HIV抗体検査	99	HIV-1, HIV-2抗体検査
HIV確認検査	—	HIV-1, HIV-2確認検査

④ 貝毒発生監視調査に係る貝毒検査

検査項目	検体数	備考
麻痺性貝毒検査	32	マウス単位法

⑤ 日本脳炎ウイルス抗原変異並びに地域差に関する調査研究

検査項目	検体数	備考
ウイルス分離	82	遺伝子解析及び抗原分析

⑥ 依頼検査

a インフルエンザ発生動向調査

検査項目	検体数	備考
インフルエンザ疾患	100	高松市依頼

b HIV検査

検査項目	検体数	備考
HIV抗体検査	74	高松市依頼
HIV確認検査	—	高松市依頼

c B型肝炎感染予防対策事業

検査項目	検体数	備考
HBs抗原検査	34	職員課依頼
HBs抗体検査	41	職員課依頼

8 保健科学部門 臨床科学担当

表 先天性代謝異常等検査実施状況 (平成14年度)

	月	平成13年										平成14年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
検査実施件数	代謝異常症	783	929	769	928	825	896	912	754	823	776	819	790	10004	
	副腎過形成症	784	928	768	927	828	897	911	753	824	780	815	794	10009	
	クレチン症	792	942	774	932	835	911	917	763	829	784	812	798	10089	
再採血検査数	代謝異常症	2	4	3	5	1	0	1	2	4	3	9	2	36	
	副腎過形成症	3	3	2	4	4	1	0	1	5	7	5	6	41	
	クレチン症	11	17	8	9	11	15	6	11	10	11	2	10	121	
	再検査数 (検体不備)	19	38	34	28	15	37	34	34	27	28	25	26	345	
実施実 人員数		797	949	779	941	840	912	918	766	838	794	826	806	10166	
要精 検者数	代謝異常症	1		1										2	
	副腎過形成症										1		1	2	
	クレチン症					2			2		1		1	6	

表 神経芽細胞腫検査実施状況 (平成14年度)

(6ヶ月児)

	月	平成14年										平成15年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
総検査実施件数		712	759	638	694	736	675	767	608	684	777	752	765	8567	
受付検体数		660	712	611	647	672	618	713	572	647	751	705	744	8052	
再採尿検査		36	37	27	36	42	37	44	28	27	24	37	19	394*	
要精 検者数													1	1	

*再検の場合1人が2～3本採尿する場合がある

(平成14年度 2本5件
3本58件)

(1歳6ヶ月児)

	月	平成14年										平成15年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
総検査実施件数		57	64	54	48	58	68	70	56	43	52	53	58	681	
受付検体数		54	63	54	46	52	57	66	53	39	52	52	56	644	
再採尿検査		2	1	0	2	2	7	2	1	2	0	1	2	22*	
要精 検者数														0	

*再検の場合1人が2～3本採尿する場合がある

(平成14年度 2本1件
3本7件)

VIII 試験研究のテーマ

(平成14年度)

1 香川県環境保健研究センターの研究テーマ

(4題)

(1) 環境ホルモンによるウニ卵に与える影響調査

環境ホルモン（内分泌攪乱化学物質）が生態系に与える影響を評価するため、ウニ卵を用いて研究を行った。

(2) 水生植物を活用した水質浄化実証事業に係る水質調査

平成13年度に豊稔池（ほうねんいけ）に流入する杵田川（くにたがわ）支流の河川敷に、水質浄化施設を設置し、水質浄化実験が行われた。この実験の一端として、浄化された水質を分析し、浄化効果を解析した。

なお、水質浄化施設は、浄化機能が高い水生植物（ヨシ・クレソン・キシヨウブ・ダイジーなど）を4区分に移植・配備した工作物である。

(3) 環境大気中の有害化学物質に関する研究

「優先取り組み物質」（大気汚染防止法で有害性が特に懸念されるアセトアルデヒド等22種類の大气汚染物質）について、詳細に調査するとともに、常時監視項目との関係を検討した。

(4) 公衆衛生のための調査研究

- ① 人畜共通感染症であるQ熱感染症（コクシエラを起因菌とする感染症）の県下の浸淫状況をイヌ、ネコの血清検査により調査した。
 - ② 各種食品中汚染物質を測定し解析を行うことにより、その摂取量を把握した。
 - ③ 新生児マス・スクリーニング検査児の追跡調査を、検査結果と臨床診断との相関性の検討から行い、検査法の改善、疫学及び発生防止の資料を得た。
 - ④ 食品添加物安全性評価等の試験検査
-

2 香川県環境保健研究センターと国・大学との共同研究テーマ

(1題)

(1) ニッポンバラタナゴの2亜種（ニッポンバラタナゴ、タイリクバラタナゴ）の遺伝子の比較に関する研究

香川県等のため池などに生息している日本固有種のニッポンバラタナゴとタイリクバラタナゴは、外見からの識別は困難であることから、遺伝子学的方法により両者の識別を行うことを目的として、DNA解析を実施した。

3 香川県環境保健研究センターと香川県所管の他の試験研究機関との共同研究テーマ

(1題)

(1) 県産特産物を利用した新商品の開発「讃岐黒豚を利用した特長ある非加熱食肉製品の開発」

讃岐黒豚を利用した加工品の開発研究の一端として、生ハムの菌叢の調査を行い、菌叢が生ハムの旨味に与える影響を検討するとともに、製品の安全性、衛生管理に関する資料を得た。

4 香川県環境保健研究センターと国・地方試験研究機関との共同研究テーマ

(5題)

(1) 瀬戸内海環境情報基本調査

瀬戸内海の環境保全施策を実施するため、瀬戸内海沿岸11府県が昭和52年から約10年周期で調査及び解析を実施しており、今回は3周期目である。

(2) 西日本及び日本海側を中心とした地域における光化学オキシダント濃度などの経年変動に関する研究

西日本および日本海側を中心とした地域におけるオキシダント濃度、粒子状物質濃度等の経年変動の状況を、各自治体実施している大気常時監視データを用いて把握し、対象地域におけるデータの相互比較を行い、大陸からの影響についても検討した。

(3) 食品中の有害物質の評価に関する研究「日常食品中の汚染物質摂取量調査」

食品中の有害物質等の評価に関する研究の一端として、国民栄養調査の食品群別摂取量に基づき、県下で購入した食品を群別に調理し混和した後、各種汚染物質の濃度、摂取量を調査した。

(4) 組換えDNA技術応用食品の検査方法に関する研究

遺伝子組換え農産物における遺伝子定量分析法の改良法等について、リアルタイムPCR装置を用いて適用性を検討した。

(5) 髄膜炎菌性髄膜炎の発生動向調査及び検査方法の研究

諸外国では散発的又は集団発生している髄膜炎菌性髄膜炎は、国内での発生は少ないが、海外からの流行株の持込や再興による流行に備え、検査法を検討するとともに、流行を予防するため健康保菌者の実態を把握した。

IX 学会, 論文等の報告

(1) 学会発表

(平成14年度)

開催日	演 題	発 表 者	学 会 名	開 催 地
4/21	インフルエンザウイルスと他のウイルスの分離について	○亀山 妙子, 三木 一男 山西 重機	第27回香川県臨床衛生検査学会	木田郡牟礼町
7/18-19	測定回数の少ない年間平均値の信頼幅の推定	○西原 幸一, 日野 康良	全国環境研協議会 中国四国支部会議	高松市
7/18-19	ダイオキシン類分析に係るトラブルの改善(事例報告)	○山本 務, 大津 和久 石川 英樹, 鈴木佳代子 西岡 信浩	〃	〃
8/29-30	ウニ卵発生法による豊島周辺環境モニタリング(ポスター発表)	○白井 康子, 赤井 紀子 多田千鶴子, 山賀 賢一 藤原 宗宏, 小林 直正	瀬戸内海研究フォーラムinわかやま	和歌山市
9/2-3	昼食弁当を原因食として発生したS. Enteritidis食中毒事例の疫学的解析	○三谷 芽生, 三木 一男 山西 重機	日本獣医公衆衛生学会(四国)	徳島市
2/7	香川県における日常食品中の無機元素の摂取量について	○西岡 千鶴, 藤田 久雄 毛利 孝明, 塚本 武	四国公衆衛生研究発表会	高松市

○印は、発表者

(2) 他誌掲載論文

演 題	著 者	雑 誌 名
流行時期の違いにより病態の相違が顕著となったエコーウイルス11型の地域限局流行-香川県	○三木 一男, 亀山 妙子 山西 重機	病原微生物検出情報, 23, 255-256 (2002)

X 学会・会議等

1 全国協議会

(平成14年度)

(1) 全国環境研協議会

学 会 名 等	開 催 地	日 程	参 加 者
全国環境研協議会中国四国支部会議	高 松 市	7/18-19	関 係 職 員
全国環研協議会 騒音振動担当者会議	横 浜 市	9/9	主任研究員 田村 章
地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	東 京 都	1/9-10	所 長 横井 聰 主席研究員 山本 務
廃棄物研究発表会 (企画部廃棄物小委員会)	横 浜 市	1/24	主任研究員 六車満由美

(2) 地方衛生研究所全国協議会

学 会 名 等	開 催 地	日 程	参 加 者
第56回地衛研全国協議会中国四国支部会議	松 山 市	5/9-10	所 長 横井 聰 次 長 山西 重機 総務企画課長 大西 満 主席研究員 好井 信子, 毛利 孝明, 砂原千寿子
全国地方衛生衛生研究所全国協議会総会	東 京 都	6/13-14	所 長 横井 聰 次 長 山西 重機
衛生微生物技術協議会第23回研究会	奈 良 市	7/11-12	次 長 山西 重機 主席研究員 砂原千寿子
第53回地方衛生研究所全国協議会及び次長・庶務課長会議	埼 玉 県	10/22-23	次 長 山西 重機 総務企画課長 大西 満
第39回全国衛生化学技術協議会年会	山 形 市	10/24-25	主席研究員 毛利 孝明
第16回公衆衛生情報研究協議会関連会議	横 浜 市	1/30-31	主任研究員 山中 康代

2 学会等

(平成14年度)

環境科学部門

学 会 名 等	開 催 地	日 程	参 加 者
瀬戸内海研究フォーラムinわかやま	和歌山市	8/29-30	研 究 主 幹 岩崎 幹男 主任研究員 土取みゆき
第43回大気環境学会	府 中 市	9/11-13	主席研究員 日野 康良 主任研究員 内田 順子
第5回日本水環境学会シンポジウム	府 中 市	9/26-27	主席研究員 笹田 康子
全国環境衛生職員団体協議会事例研究発表会並びに総会	東 京 都	10/24	主席研究員 西原 幸一

環境科学部門

学会名等	開催地	日程	参加者
環境放射能調査研究成果発表会	東京都	12/4	主席研究員 日野 康良
第29回環境保全・公害防止研究発表会	宮崎市	1/23-24	主任技師 野崎 一伸
第26回瀬戸内海水質汚濁研究公害研会議	福岡市	1/30-31	研究主幹 岩崎 幹男
第37回日本水環境学会年会	熊本市	3/3-6	主席研究員 笹田 康子 主任研究員 鈴木佳代子
第20回環境科学セミナー	東京都	3/17-19	主任技師 野崎 一伸 技師 高尾 仁士

廃棄物・リサイクル部門

学会名等	開催地	日程	参加者
第13回廃棄物学会研究発表会	京都市	11/28-30	主席研究員 藤田 久雄
第18回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市	2/19-20	主席研究員 片山 正敏

保健科学部門

学会名等	開催地	日程	参加者
第51回日本医学検査学会	仙台市	5/15-17	研究主幹 十川 聖三
日本脳炎ウイルス研究班会議	東京都	6/24-25	次 長 山西 重機
第6回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム	東京都	6/24-25	主任技師 三谷 芽生
第53回四国地区獣医師公衆衛生学会	徳島市	9/2-3	主席研究員 三木 一男 主任技師 三谷 芽生
第30回日本マス・スクリーニング学会及び第25回技術部会	東京都	9/27-28	主席研究員 野田 陽子 主任技師 植田 晶子
第61回日本公衆衛生学会	埼玉県	10/24	次 長 山西 重機
第72回日本感染症学会西日本地方会総会	大分市	11/28-29	主席研究員 三木 一男
日本食品化学学会第14回食品化学シンポジウム	大阪市	11/1	主任技師 野崎 香織
四国公衆衛生学会研究発表会	高松市	2/7	研究主幹 塚本 武 主席研究員 西岡 千鶴
日本獣医公衆衛生学会 年次大会	宜野湾市	2/7-9	次 長 山西 重機
日本マス・スクリーニングの効率的実施及び開発に関する研究(厚生労働科学研究)	東京都	2/8-9	主席研究員 好井 信子
日本マス・スクリーニング学会技術部会及び第22回研修会プログラム	大阪市	3/6-7	研究主幹 十川 聖三 主席研究員 好井 信子
日本薬学会第123年会	長崎市	3/27-29	研究主幹 塚本 武

3 研修・講習会

(平成14年度)

環境科学部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
水質分析研修	所沢市	5/15-30	主任研究員 土取みゆき
第5回JEOL西日本ダイオキシン分野ユーザーズミーティング	大阪市	9/10	主席研究員 石川 英樹
石綿測定技術者研修	川崎市	9/18-19	主任研究員 大西ひとみ
環境放射能分析研修Ge半導体検出器による測定法	千葉市	10/29-11/8	主席研究員 日野 康良
機器分析研修	所沢市	1/15-30	主任研究員 大西ひとみ 技 師 高尾 仁士
臭気分析研修	所沢市	2/17-21	主任研究員 田村 章

廃棄物・リサイクル部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
ダイオキシン類環境モニタリング研修(基礎過程)	所沢市	11/25-12/18	主任技師 真鍋 潔司

保健科学部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京都	7/29	主席研究員 山下みよ子 主任研究員 亀山 妙子
四国四県食品衛生監視員研修会	高松市	8/29-30	主任技師 野崎 香織
結核予防関係職員研修 臨床検査技師短期研修	東京都	9/3-10	主席研究員 多田千鶴子
ウエストナイル熱の検査法に関する講習会	東京都	10/28	主任研究員 亀山 妙子
第5回都道府県等 健康危機管理研修会	東京都	1/20-21	主席研究員 三木 一男
希少感染症診断技術研修会	東京都	2/18-19	主席研究員 砂原千寿子 主任研究員 亀山 妙子
食品保健講習会	東京都	3/6-7	主席研究員 西岡 千鶴

4 連絡会議等

(平成14年度)

総務企画課

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
三重県環境情報総合システムに係る先進地調査	三重県	8/30	主席研究員 高橋 敏夫
ISO14001認証取得に係る現地調査	富山・金沢	12/12-13	主席研究員 高橋 敏夫, 石川 英樹

環境科学部門

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
「化学物質環境汚染実態調査」説明会	東京都	4/25	主席研究員 石川 英樹
瀬戸内海環境情報基本調査検討作業会	神戸市	5/24	主席研究員 多田 薫
第1回産官学連携推進会議	京都市	6/15-16	研究主幹 岩崎 幹男
瀬戸内海環境情報基本調査検討作業会	岡山市	6/25	主席研究員 多田 薫
瀬戸内海環境情報基本調査に係る検討委員会及び検討作業会議	広島市	7/11	主席研究員 多田 薫
瀬戸内海水質汚濁研究公害研会議に係る企画検討会	太宰府市	10/4	主席研究員 多田 薫
H13年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会	大阪市	10/7	主席研究員 石川 英樹
全国環境衛生職員団体協議会事例研究発表会並びに総会	東京都	10/24	主席研究員 西原 幸一
環境放射能分析研修Ge半導体検出器による測定法	千葉市	10/29-11/8	主席研究員 日野 康良
瀬戸内海基本情報調査検討作業会	山口市	12/13	主席研究員 多田 薫
環境放射能成果発表会	東京都	12/4	主席研究員 日野 康良
環境審議会温泉部会	高松市	2/3	主席研究員 毛利 孝明
瀬戸内海環境情報基本調査に係る第2回検討委員会及び第5回検討作業会議	広島市	2/4	主席研究員 多田 薫
環境測定分析統一精度管理ブロック会議	広島市	2/13	主席研究員 多田 薫, 石川 英樹
C型共同研究交流会	つくば市	3/3-4	主席研究員 日野 康良
第20回環境科学セミナー	東京都	3/17-19	主任技師 野崎 一伸 技師 高尾 仁士
放射能分析確認調査技術検討会	東京都	3/18-20	主席研究員 日野 康良

廃棄物・リサイクル部門

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
H13年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会	大阪市	10/7	主席研究員 山本 務
安定型産業廃棄物の基準等に関する検討委員会 (第2回)	東京都	3/20	主席研究員 藤田 久雄 主任技師 真鍋 潔司

保健科学部門

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
「食品分析の最近の話題と技法」 －表示義務とその対応－	豊中市	4/16	主任技師 野崎 香織
全国家庭用品安全対策担当係長会議	東京都	6/27	主席研究員 山下みよ子
コラボレーション実験の分析担当者説明会	つくば市	7/29	主任技師 野崎 香織
第7回地域保健のためのインターネット研究会	東京都	11/29	主任技師 三谷 芽生
食品添加物一日摂取量調査打合せ会	東京都	12/10	主席研究員 毛利 孝明
日常食品中の汚染物質摂取量調査研究報告会	東京都	3/19	主席研究員 西岡 千鶴 主任技師 野崎 香織

XI 講演, 研修等の概要

1 講演

(平成14年度)

開催日 場 所	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
5/16 丸亀市： 丸亀市総合会館	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	丸亀市消費者友 の会	感染症あれこれ 次 長 山西 重機	37
6/4 高松市：香川県中央生 活センター	第49回香川県消費生活講座 消費生活センター主催	消費生活講座生	環境にやさしい循環型社会を めざして 所 長 横井 聡	50
6/10 高松市：コープかがわ コープ一宮	コープかがわ 「消費者講座」	消費者講座生	21世紀のエコライフとは… 所 長 横井 聡	50
6/18 国分寺町： 国分寺町役場	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	国分寺町消費者 友の会	感染症あれこれ 次 長 山西 重機	35
7/10 詫間町： 詫間町マリノウェーブ	生活設計情報教室 「お年寄りのための消費者教 室」 消費生活センター主催	うらしま大学 (高齢者)	地球にやさしい生活 主席研究員 高橋 敏夫	110
7/17 普通寺市： 普通寺市役所	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	普通寺市消費者 友の会	感染症あれこれ 主席研究員 三木 一男	41
9/29 池田町： 農村環境改善センター	かがわ県民カレッジ 「環境基本講座」 教育委員会主催	池田町等の受講 生	循環型社会の構築 主席研究員 高橋 敏夫	30
10/2 国分寺町： 国分寺町女性会館	〃	国分寺町等の受 講生	〃	30
10/10 多度津町：多度津町総 合福祉センター	〃	多度津町等の受 講生	〃	30
10/11 普通寺： 普通寺市市民会館	第35回普通寺寿大学	普通寺公民館寿 大学受講生	地球にやさしい暮らし 主席研究員 高橋 敏夫	500
10/15 高松市： 高松国際ホテル	高松中央ロータリークラブ		循環型社会の形成に向けて ～直島町エコタウンプランとは～ 所 長 横井 聡	50

開催日 場 所	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
11/7 三木町：三木町農村環境改善センター	かがわ県民カレッジ 「環境基本講座」 教育委員会主催	三木町等の受講生	循環型社会の構築 主席研究員 高橋 敏夫	30
12/3 山本町： 山本町保健センター	山本町環境保全審議会委員研修	山本町環境保全審議会委員	香川県の環境について 所 長 横井 聡	17
12/4 山本町： 山本町保健センター	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	山本町消費者友の会	感染症あれこれ 主席研究員 三木 一男	27
1/15 三木町： 三木町福祉センター	町ぐるみ環境衛生実践事業	中部地区衛生組織連絡協議会三木支部	地球環境問題と循環型社会について 所 長 横井 聡	80
1/15 国分寺町： 国分寺町農協会館	第4回生活指導員研究会定例会	J A 香川県組織経営本部生きがい対策室	香川県の環境について 主席研究員 高橋 敏夫	25
1/16 香南町： 香南町中央公民館	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	香南町消費者友の会	地球にやさしい生活 主席研究員 高橋 敏夫	100
2/20 国分寺町： J A 香川県国分寺支部	J A 香川県国分寺支部女性部	J A 香川県国分寺支部女性部交流会	地球にやさしい生活 主席研究員 高橋 敏夫	170

2 研修会 (外部)

(平成14年度)

開催日	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
7/18	赤痢菌技術研修会	保健所検査担当者	保健科学部門 主席研究員 砂原千寿子	10
7/23	環境汚染物質学習会 「ダイオキシン類の測定技術についての研修」	香川県立高松工芸高等学校 工芸化学科 (2年生)	廃棄物・リサイクル部門 主席研究員 山本 務 主任技師 真鍋 潔司 環境科学部門 主席研究員 石川 英樹 主任研究員 鈴木佳代子	12

3 研修会 (内部)

(平成14年度)

開催日	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
2/14	ECD機器使用者教育訓練	センター職員	主席研究員 西原 幸一	10
8/21	第1回 健康危機管理研修会	センター職員		50
	・バイオテロについて	センター職員	主席研究員 砂原千寿子	
	・私の経験した健康危機管理事例	センター職員	主席研究員 西原 幸一	
	・化学物質と食品の健康危機管理	センター職員	主席研究員 毛利 孝明	
12/18	第2回 健康危機管理研修会	センター職員	県総務部危機管理課 課長補佐 炭井 宏秋	40
	・危機管理について	センター職員		

4 第1回 かがわ環保研・フォーラム 調査研究発表会

日 時 平成15年3月13日 (木)
場 所 香川県環境保健研究センター 研修室 (3階)
出 席 者 110名

(1) 記念講演

- | | | |
|-------------------------------------|------|-------|
| ① 環境行政を担当した35年間
～公害対策から環境保全の施策へ～ | 所 長 | 横井 聰 |
| ② 「温泉蛙」の教訓 | 研究主幹 | 十川 聖三 |

(2) 調査研究発表

- | | | |
|---|--|-------|
| ① ウニ卵を用いる水質の生物試験法に関する研究
—環境ホルモンによるウニ卵への影響調査— | | 多田千鶴子 |
| ② 測定回数の少ない年間平均値の信頼幅の推定 | | 西原 幸一 |
| ③ 昼食弁当を原因食として発生したS. Enteritidis
による食中毒事例の疫学的検討 | | 三谷 芽生 |
| ④ 香川県における日常食品中の無機元素の
摂取量について (第2報) | | 西岡 千鶴 |

XII 環境研・学習サポートボックス事業

(講師派遣を除く) (平成14年度)

月 日	学 校 名 等	学 年	区 分	人 員
4月26日	高松市立屋島西小学校	5年生	施設内体験学習	132
5月16日	高松市立太田小学校	5年生	現地体験学習	132
5月27日	福州大学等 (中国)	—	施設見学	4
5月29日	高松市立木太北部小学校	4年生	現地体験学習	97
6月3日	一般見学	—	施設見学	2
6月3日	高松市立屋島西小学校	5年生	施設内体験学習	4
6月4日	高松市立光洋中学校	1年生	施設内体験学習	88
6月5日	一般見学	—	施設見学	3
6月6日	一般見学	—	施設見学	2
6月7日	高松市立下笠居中学校	1年生	現地体験学習	71
6月10日	一般見学	—	施設見学	1
6月11日	一般見学	—	施設見学	2
6月12日	高松市立東植田小学校管沢分校	1-6年生	現地体験学習	4
6月12日	一般見学	—	施設見学	2
6月13日	三菱化学 (株)	—	施設見学	20
6月14日	花園公民館	—	施設見学	26
6月18日	高松市立木太北部小学校	4年生	施設内体験学習	92
6月19日	一般見学	—	施設見学	1
6月21日	さぬき市長尾東小学校	4年生	現地体験学習	61
6月24日	高松市立香南小学校	4年生	現地体験学習	67
6月25日	一般見学	—	施設見学	1
6月27日	一般見学	—	施設見学	1
6月28日	青年招へい事業 (公衆衛生) ヲオス民主主義共和国	医師等	施設見学	27
6月28日	一般見学	—	施設見学	2
7月8日	高松市立勝賀中学校	1年生	現地体験学習	230
7月10日	財田町立和光中学校	1年生	現地体験学習	47
7月23日	高松市立栗林小学校	5年生	施設見学	2
7月26日	香川県立高松工芸高等学校	2年生	施設内体験学習	14
8月19日	一般見学	—	施設見学	4
8月22日	高松市立栗林小学校	4年生	施設見学	2
8月27日	高松市立栗林小学校	5年生	施設見学	4
9月6日	教育センター	県立学校教職員	施設見学・利用	60
9月9日	高松市生活研究グループ連絡協議会等	協議会委員等	施設見学	35
9月10日	三木町立三木中学校	2年生	施設内体験学習	14

月 日	学 校 名 等	学 年	区 分	人 員
9月11日	三木町立三木中学校	2年生	施設内体験学習	11
9月12日	高松市立桜町中学校	1年生	施設内体験学習	33
9月18日	高松市立屋島西小学校	5年生	現地体験学習	138
9月24日	白鳥町立白鳥中学校	1年生	現地体験学習	97
9月30日	大内町立大川中学校	1年生	現地体験学習	141
10月1日	坂出市立中央小学校	5年生	現地体験学習	50
10月1日	高松市立古高松小学校 (久米池)	4年生	現地体験学習	50
10月2日	高松市立城内中学校 (職場体験学習)	2年生	職場体験学習	3
10月2日	高松市立多肥小学校	5年生	現地体験学習	80
10月8日	三木町立平井小学校 (新川)	4年生	現地体験学習	43
10月9日	高松市立龍雲中学校	1年生	施設内体験学習	37
10月11日	多度津町立四箇小学校	5年生	現地体験学習	52
10月15日	香南町立香南中学校	1年生	現地体験学習	87
10月29日	高松市立桜町中学校	1年生	施設内体験学習	29
11月1日	高松市立男木中学校	1-3年生	施設内体験学習	6
11月8日	高松市立古高松中学校	3年生	現地体験学習	29
11月11日	高松市立二番丁小学校	4年生	現地体験学習	40
11月13日	高松市立紫雲中学校	1年生	現地体験学習	24
11月13日	高松市立紫雲中学校	1年生	施設内体験学習	24
11月18日	小豆地区衛生組織協議会役員	-	施設見学	20
11月27日	高松大学	-	施設見学	2
12月6日	香川県弁護士会 (第56期司法修習生)	-	施設見学	10
12月6日	香川医科大学 (医学部医学科)	4年次生	施設見学	106
1月15日	中部地区衛生組織連絡協議会	協議会委員等	施設見学	200
合 計			58件	2566

XIII 環境森林部 環境教育・環境学習事業

1 「環境キャラバン隊事業」の支援（総対象のうち支援対象に限る）

(平成14年度)

月日	学校名等	学年	区分	人員
5月23日	三木町立平井小学校	6年生	現地体験学習	114
5月24日	綾南町立羽床小学校	3・4・5年生	〃	65
5月27日	高松市立木太南小学校	4年生	〃	103
6月17日	飯山町立飯山北小学校	4年生	〃	102
6月26日	高松市立龍雲中学校	1年生	〃	180
8月6日	香川県教育センター	小・中・高等学校 教員等	〃	54
9月26日	善通寺市立中央小学校	5年生	〃	65
10月18日	高松市立屋島中学校	1年生	〃	240
12月2日	綾南町立羽床小学校	3・4年生	〃	46
12月17日	坂出市立府中小学校	5年生	〃	43
1月19日	第38回香川県子ども会指導者・育成者研究大会 子ども会関係者		イベント	—
合 計			11件	1012

2 「海辺（水辺）の教室」の支援

(平成14年度)

月日	学校名等	学年	現地学習	人員
6月14日	多度津町立四箇小学校	3年生	弘田川	51

XIV 環境保全・保健衛生関係行事

(平成14年度)

環境月間行事名	期間	実施場所
「エコライフかがわ環境フェスタ2002」	6/1-2	さぬき市 みろく自然公園
かがわの環境パネル・写真展と舩倉島の野鳥たち	7/23-8/18	高松市生涯学習センター まなびCAN

XV 環境月間行事等

(平成14年度)

テーマ 「循環型社会 捨てずに生かす 新時代」

期間 平成14年6月1日－6月30日 (土曜、日曜を除く)

環境月間行事名	期間	実施場所	備	考
環境保健研究センター施設公開	6/1－6/30	環境保健研究センター	見学者等 477人	
環境ライブラリーの利用促進	6/1－6/30		見学者等 47人	
環境パネル展示	6/1－6/30		見学者等 477人	
香川の自然環境写真展	6/1－6/30		「香川の水環境50選」などの写真30点余展示	
(かがわの環境パネル・写真展と袖倉島の野鳥たち)	7/23－8/18	高松市生涯学習センター まなびCAN		
「残したい日本の音風景100選」鑑賞会 ビデオ版	6/1－6/30	環境保健研究センター	「100選」は、環境庁(現 環境省)の選定	
施設内見学等体験学習	6/3	施設内体験学習	高松市立屋島西小学校	4
	6/4	〃	高松市立光洋中学校	88
	6/7	現地体験学習	高松市立下笠井中学校	71
	6/12	〃	高松市立東植田小学校菅沢分校	4
	6/13	施設見学	三菱化学㈱	20
	6/14	〃	花園公民館	26
	6/18	施設内体験学習	高松市立木太北部小学校	92
	6/21	現地体験学習	さぬき市長尾東小学校	61
	6/24	〃	高松市立香南小学校	67
環境キャラバン隊支援事業	6/17	現地体験学習	飯山町立飯山小学校	102
	6/26	〃	高松市立龍雲中学校	180
環境保全体験教室開設	6/28	青年招へい事業(公衆衛生) ラオス民主主義共和国		27

XVI 環境ライブラリー事業

(平成14年度)

種類 対象	パネル貸出		ビデオ貸出		図書貸出		資器材貸出	
	(件)	(枚)	(件)	(本)	(件)	(冊)	(件)	(品目)
学 校 関 係	3	17	5	18	5	18	11	40
公 共 団 体	5	65	6	26	0	0	3	5
企 業	0	0	1	2	2	4	0	0
婦 人 団 体 等	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般	0	0	0	0	0	2	0	0
計	8	82	12	46	7	22	14	45

備考：学校関係は生徒を含む。スライドの貸出利用なし。

資器材は、環境庁(現 環境省)の総合環境学習ゾーン用の学習資器材。

香川県環境保健研究センター規則

平成14年3月29日

規則第53号

(設置)

第一条 環境の保全及び保健衛生に関する調査、研究等の業務を行うため、香川県環境保健研究センター（以下「センター」という。）を高松市に置く。

(業務)

第二条 センターの業務は次のとおりとする。

- 一 地球環境保全、公害の防止及び自然環境の保全その他の環境の保全に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 二 廃棄物の処理及び有効利用に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 三 微生物、医動物及び臨床病理等に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 四 食品、薬品、家庭用品、飲用水及び温泉等に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 五 環境の保全及び保健衛生のための技術の開発に関すること。
- 六 環境の保全及び保健衛生に関する研修、講習及び指導に関すること。
- 七 環境の保全及び保健衛生に関する情報の収集、解析及び提供に関すること。

(業務分掌)

第三条 センターに、総務企画課を置く。

2 総務企画課の分掌事項は、次のとおりとする。

- 一 予算及び決算に関する事項
- 二 会計に関する事項
- 三 職員の身分、服務及び給与に関する事項
- 四 公印の保管に関する事項
- 五 文書の收受、発送、編集及び保存に関する事項
- 六 庁舎管理に関する事項
- 七 環境の保全及び保健衛生に関する研修、講習及び指導の計画に関する事項
- 八 環境の保全及び保健衛生に関する情報の収集、解析及び提供に関する事項
- 九 その他他の所掌に属さない事項

(職員)

第四条 センターに、次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 次長
- 三 研究主幹
- 四 課長
- 五 副主幹
- 六 主席研究員
- 七 主任主査
- 八 係長
- 九 主査
- 十 主任研究員
- 十一 その他の職員

(職務)

第五条 所長は、上司の命を受けてセンターの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 次長は、所長の命を受けて担任する業務を掌理し、当該業務を担当する職員を指揮監督する。

3 研究主幹及び主席研究員は、上司の命を受けて担任する業務を掌理し、当該業務を担当する職員を指揮監督する。

4 課長は、上司の命を受けて課に属する業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

5 副主幹、主任主査及び主査は、上司の命を受けて、特定の業務を処理する。

6 係長及び主任研究員は、上司の命を受けて、業務を処理する。

7 その他の職員は、上司の命を受けて、業務に従事する。

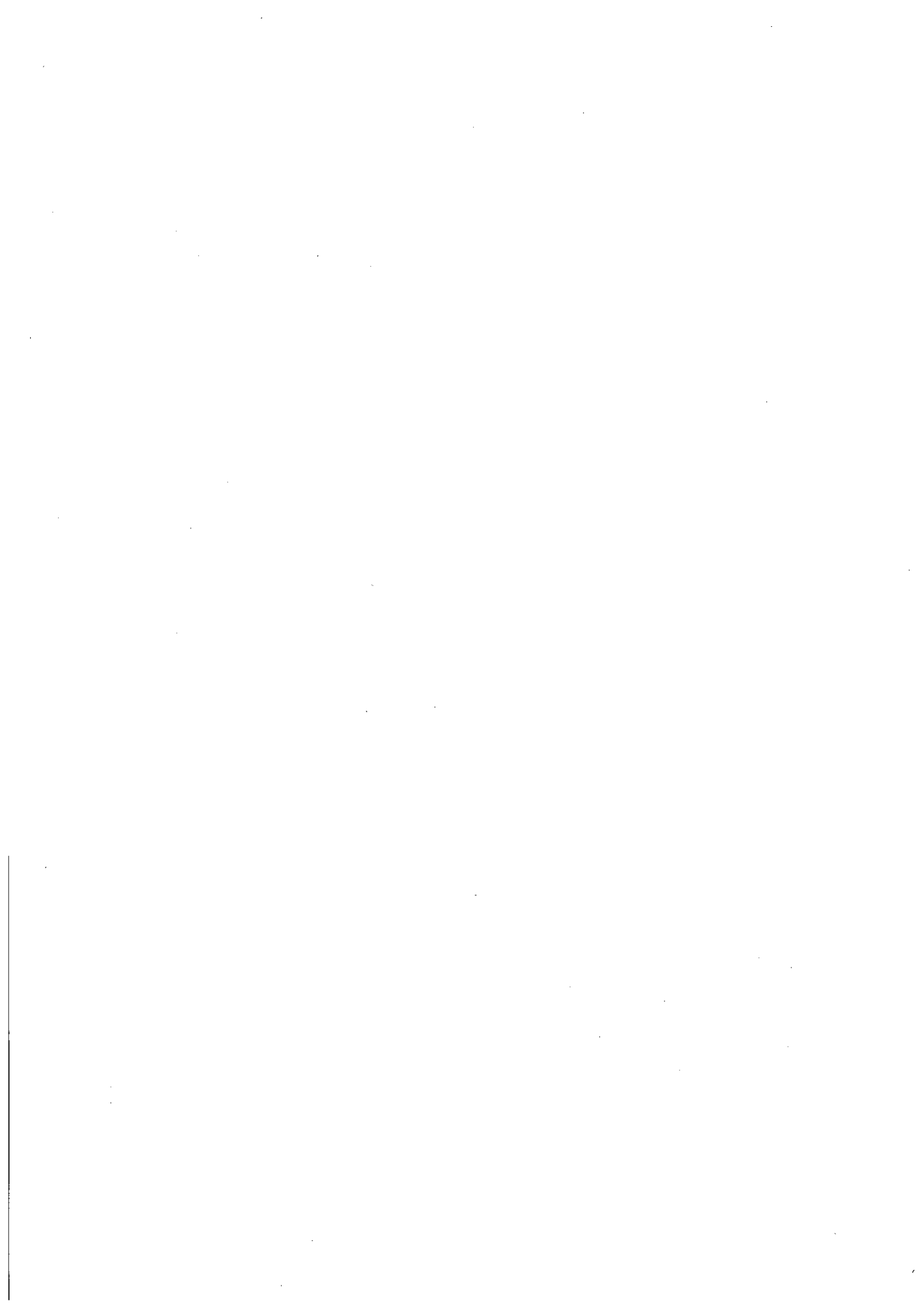
(補則)

第六条 この規則に定めるもののほか、センターの業務の処理について必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。



香川県環境保健研究センター所報投稿規定

- 1 所報は、香川県環境保健研究センターにおいて行った調査研究の業績等を掲載する。投稿者は原則として本研究センター職員とする。但し、共同研究者（※印をつけ脚注欄に所属先を示す）については、この限りではない。研究投稿内容は総説、調査研究、資料とする。
- 2 原稿は原則として下記の様式1に基づき作成し、原稿（図表含む）及びフロッピーディスク等（ソフト名及び保存ファイル名を記載）を提出する。また、投稿内容の概要を下記の様式2に従い提出すること。
- 3 調査研究については、次の順序に従って記載する。表題、著者名、表題（英文）、著者名（ローマ字）、要旨、キーワード、Ⅰ 緒言（はじめに）、Ⅱ 方法、Ⅲ 結果、Ⅳ 考察、Ⅴ まとめ、文献の順序とし、頁数は8頁以内にまとめる。
- 4 要旨は400字程度とし、一行50字程度とする。
- 5 番号の付け方は、Ⅰ・・・、1・・・、(1)・・・、①・・・、a・・・、とし、ゴシック体とする。
例) Ⅰ はじめに
Ⅱ 方法
1 材料
(1) ○○・・・
- 6 図表名は、図の場合は下部に「図1 ○○」、表の場合は上部に「表1 ○○」のように番号順に表示する。文献は文章の右肩に、^{1), 2)}・・・のように示し、一括して最後に引用番号順に配列する。
(1) 雑誌の場合；著者名：表題，雑誌名，巻（号），頁，（西暦）
例1 環境 太郎，保健 花子：有機水銀の体内分布について，生化学，26(2)，124-135，（2002）
(2) 単行本 ；原著者名：書名（版），頁，発行所（発行地），（西暦）
例2 瀬戸 渡：改訂 食中毒（第2版），26-50，さぬき出版（香川），（2002）
- 7 投稿締め切り日は、毎年10月31日とする。
- 8 様式1：A4版縦，二段組，一行25字（画），10.5ポイント程度，明朝体

表 題 表 題（英 文） 著 者 名 著 者 名（ローマ字）（例 Noboru ASAHI） 要 旨 キーワード：	（400字程度，一行50字程度） Ⅳ 考 察・・・・・・・・・・・・・・・・ Ⅴ ま と め・・・・・・・・・・・・・・・・ 文 献・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅰ 緒 言（はじめに）・・・・・・・・	
Ⅱ 方 法・・・・・・・・	
Ⅲ 結 果・・・・・・・・	

- 9 様式2：A4版横 香川県環境保健研究センター（○○号）概要 原稿と共に提出する。

表 題	論文の種類	著者名	目的，結果，得られた重要な知見や論点を中心に記載

- 10 様式3：A4版縦 提出締め切り日は、毎年8月31日とする。

- 1 表題 2 所属及び氏名 3 投稿の概要

香川県環境保健研究センター所報編集委員会

委員長 山西 重機
委員 塚本 武
委員 大西 満
委員 岩崎 幹男
委員 山本 務
委員 日野 康良

香川県環境保健研究センター所報 第2号
2003 Vol. 2

編集・発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105

TEL 087-825-0400 FAX 087-825-0408

E-mail : kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

E-mail : kagawa-kanpoken@nifty.ne.jp (環保研・学習サポートボックス)

HP : http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/e_center/index.htm

総務企画課	総務担当 087-825-0400 企画情報担当 087-825-0415
環境科学部門	水質担当 087-825-0401 大気担当 087-825-0402 常時監視担当 087-825-0403 自然環境担当 087-825-0401
廃棄物・リサイクル部門	廃棄物担当 087-825-0405 資源化・リサイクル担当 087-825-0405
保健科学部門	微生物担当 087-825-0412 生活科学担当 087-825-0413 臨床科学担当 087-825-0414

発行 平成15年12月1日

印刷 (株)美巧社

この所報は、再生紙を使用しています。